

# 20歳代から歯周病検診

都田・常葉大 学生らに受診呼びかけ

浜松市と常葉大浜松キャンパスは25日、同市浜名区都田町の同キャンパスで、学生たちを対象に歯周病検診の受診を勧める啓発活動を実施した。

全身の病気にリスクに影響

する歯周病の患者が、若年層でも増えている現状を受け、厚生労働省は4月から健康増進法に基づく自治体の歯周疾患検診の対象年齢を拡大し、20歳と30歳を追加。浜松市も独自に30歳以

上としていた歯周病検診の対象を、4月から20歳以上に引き下げた。

キャンパスの食堂前など2カ所での啓発活動では、学生有志4人と市浜名健康づくりセンターの歯科衛生士ら3人が啓発グッズを配った。健康プロデュース学部2年の小倉佑太さん(20)は「歯は重要。歯周病菌は20代前半にも感染すると報告されている。症状のない早い段階から歯と口の健康に関する知識の普及や啓発が必要」と検診の受診を呼びかけていた。

20歳以上の市民を対象に、自己負担金500円で受けられる歯周病検診(70歳以上の高齢者らは無料)は、5年ごとに受診券となるはがきが郵送される。それ以外でも、受診券の申し込みは可。◎歯の健康センター 053(453)6129 (中野吉洋)



歯周病検診の啓発をする小倉佑太さん◎浜松市浜名区の常葉大浜松キャンパスで